

新 しん 緑 みどり ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216(直通)

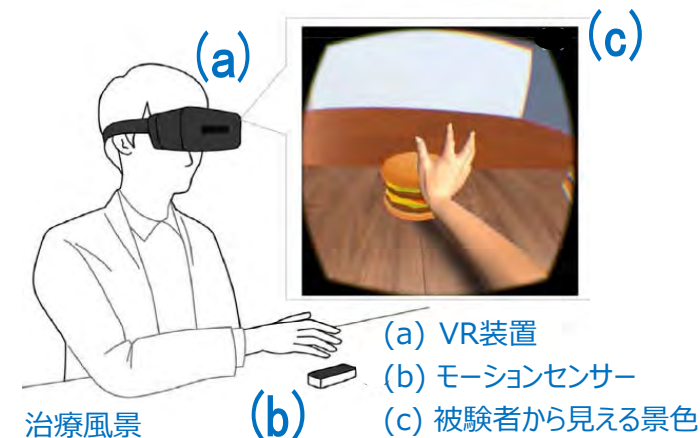


VR 医療の質向上を目指して ～リハビリテーション部の活躍～

「1」 Topics in Stroke Rehabilitation

国際学術誌に共同研究が掲載されました

早稲田大学と亀田総合病院、当院とで実施した共同研究の報告が国際学術誌に掲載されました。この研究では、没入型バーチャルリアリティ（VR）という最新技術を用いた治療方法で、脳卒中後の左半側空間無視（左USN）という症状の即時的な改善効果を示しました。左USNとは、視力低下や視野欠損とは別に、患者から見て左空間に意識を向け、視覚的に認識することが困難になる症状で、日常生活に大きな支障をきたします。また、同じ左空間でも、身体からの距離（遠い／近い）によっても症状の程度に個人差がありますが、この遠い空間と近い空間の同時的な治療方法はまだ未確立です。

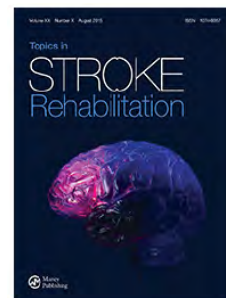


今回、我々はVR技術を応用し、仮想空間上で左USNの遠い空間と近い空間の治療方法を考案し、10名の患者様にご協力いただき、その効果を検証しました。その結果、遠い空間の無視について統計的に有意な改善が得られました。今後、さらに精度の高い治療システムの確立を目指してまいります。

「2」 「認知神経リハビリテーション」論文掲載

今年3月、当院で行ったリハビリテーションの治療報告が、国内学術誌「認知神経リハビリテーション」に掲載されました。本報告は、“同時失認”という一つの対象は認識可能にも関わらず、複数の視覚対象を同時に認識することができない症状により、身辺動作に支障をきたした症例に関するものです。視覚性注意（視覚的に外界に注意を払う能力）に着目し、その能力の改善を図った結果、身辺動作に改善が得られました。今後、この治療方法の有効性について科学的に検証してまいります。

リハビリテーション部 主任 大平 雅弘（作業療法士）



【論文情報】 ※詳細はリハビリブログをご覧ください

「1」 Topics in Stroke Rehabilitation. 2017
Yasuda K, Muroi D, Ohira M & Iwata H
Validation of an immersive virtual reality system for training near and far space neglect in individuals with stroke: a pilot study.
論文URL :
<http://.doi.org/10.1080/10749357.2017.1351069>

「2」 認知神経リハビリテーションVol.16, 2016
大平 雅弘（横浜新緑総合病院 リハビリテーション部 作業療法士）、川崎 翼

右半側空間無視と同時失認により視覚探索障害を呈した症例 —視覚性注意に着目した訓練—

一日看護体験を開催



7月28日金曜日、近隣の中学生・高校生を対象とした『一日看護体験』を今年も開催しました。看護師や医療関係の仕事を目指す17名が参加、初めて着る白衣や実際の医療現場に緊張しながらも、看護師と一緒に食事の援助やシーツ交換などを行いました。当院では、体験を通して看護のやりがいや魅力を感じたと感想を寄せてくれた学生たちが、将来の夢を叶えられるよう応援しています。



チーム医療 | 緩和ケアチーム

私たち緩和ケアチームは、がんと診断された方を中心に身体症状の緩和はもちろんのこと、告知や病気に伴う苦痛で起こる不安など心理面の変化をサポートしていくために発足したチームです。

緩和ケアと聞くと終末期を想像する方も多いと思いますが、今はがんと診断されたときから緩和ケアは始まると言われ、緩和ケアと治療を同時に行っていくことが推奨されています。

がんと診断されることは、患者様にとって大きな苦痛をもたらします。どのくらい病状が悪いのか、これからどんなことが起こるのか、どこで治療を受けていくことが最善か、どの治療方針を選択することが最善か等、多くのことに突然悩まされます。

私たち緩和ケアチームは緩和ケア認定看護師を中心に、がんと告知される日からのサポートを心がけ、患者様だけで悩みを抱え込まないでよいよう一緒にこれからのことを考えていきます。心や身体症状の辛さを緩和させることが役割であり、患者様のライフサポーターだと思っていただけると幸いです。

具体的な活動としては、外来では、病名告知のとき、治療中で身体症状や心が辛いとき、医師の説明に同席させて頂きます。その後、お困りのことやうまく主治医に伝えられなかった気持ちなどお話しを聞かせて頂き、必要に応じて主治医や医療相談員、管理栄養士、外来看護師などと連携をとり、患者様の橋渡し役としてサポートしていきます。

入院に際しては、身体症状のコントロールを中心に、主治医や病棟看護師と連携を取りながら精神面のサポートや意思決定支援、そしてご家族の看護まで幅広く活動しています。どんなことでも患者様やご家族様と一緒に考えていきます。

お困りのときや話してみたいと思ったときには、ぜひお気軽に外来や病棟スタッフまでお声かけください。

緩和ケアチーム 看護係長 壁谷 愛 (緩和ケア認定看護師)



緩和ケア会議



緩和ケアチーム



10月7日(土) 午前10:00~11:30 みんなの健康講座 in みどりアートパーク開催!

第1部

「こわい重症脳梗塞への一手！」

～最新の超急性期カテーテル治療～

講師

脳神経センター 脳神経外科部長 小菊 実

第2部

「負担の少ない大腸がん治療」

～腹腔鏡下手術と大腸ステント治療を中心に～

講師

消化器センター長 外科・消化器科部長 齊藤 修治

会場 みどりアートパーク (緑区民文化センター) 長津田駅北口 徒歩4分

参加 入場無料 定員300名 (事前申し込み受付中) ※開場 9:30

申込み・問合せ 横浜新緑総合病院 TEL:045-984-2400 (代)



9月10日(日) 午前10:30~午後1:00 「ふれあいバザー」 当院駐車場

バザー: 掘出し物をたくさんご用意! 屋台(焼きそば・たこ焼・ポテト・かき氷・生ビール・お茶etc.)もお楽しみに!

ゲスト: お笑いものまねコンビ NOモーション。《ショータイム》 午前11:30~12:00 ※雨天開催予定

平成29年 みんなの健康講座 主催: 横浜新緑総合病院 ※参加費無料

平成29年10月21日(土) シリーズ糖尿病 第22回 「今日から実践!! 運動で防ごう生活習慣病」

会場 十日市場地区センター 2階中会議室 (十日市場駅より徒歩5分)

時間 午後1:30~2:30 問合せ 地域医療連携室 045-984-6216 (直) 045-984-2400

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→

